

# 北町西小

## ことばの教室

令和3年 第5号 学級通信

練馬区立北町西小学校

特別支援学級（言語障害通級指導学級）

TEL/FAX 3932-7631 教室直通

秋の訪れを感じる季節になり、過ごしやすくなってきました。

学校は今月から通常の授業ができるようになり、ことばの教室でも、校外のお子さんたちが通級できるようになりました。7月最後の通級から2か月たちます。成長した子どもたちと、また楽しく学習をしていきたいと思えます。

今後も感染症対策に努め、指導を行います。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いたします。

### 行事予定

※現段階での予定です。

今後、変更になる可能性があります。

#### 〈10月〉

- 1日（金）都民の日（指導休み）
- 5日（火）江北ブロック研究会（午後）
- 9日（土）専門家相談（午前）
- 12日（火）言語運営研究会・区入級検討会（午前）都難言協専門研究会（午後）
- 26日（火）吃音グループ学習（15：00～16：00）オンライン

#### 〈11月〉

- 2日（火）江北ブロック研究会（午後）
- 11日（木）言語運営研究会（午後）
- 16日（火）吃音グループ学習  
（15：00～16：00）
- 19日（金）就学時健診（午後指導なし）
- 29日（月）～12月10日（金）  
学習発表会（展示発表・動画発表）



#### 〈12月〉

- 3日（金）5校合同専門家相談ケース会議（午後指導なし）
- 7日（火）江北ブロック研究会（午後）
- 10日（金）2学期通級終わり
- 15日（水）専門家相談（午後）
- 20日（月）～23日（木）面談週間

## コラム 「壁」を乗り越える

A君は吃音があることで入級してきました。1年生の時です。

1年目のことばの発表会。

彼は口を押さえて決して自分の名前を言おうとはしませんでした。

どもってしまうのが怖かったのです。

私たちはこれを「吃音にとらわれている」と言います。



A君と私との関わりが始まりました。

とは言っても特別なものではなく、単にプレイルームにて二人で遊ぶというもの。

プレイルームの中ではA君が主役。遊びやそのルールなど全てを決めます。

まあ、王様みたいなものです。

でもそのことによって、感情がのびのびと解放されたり自己有能感を得たりするわけです。

2年が過ぎ、またことばの発表会の時期が来ました。

A君はひとりで演壇の前に立っていました。

そして自分の吃音のことについての作文を読みました。

「吃音はあるけど、しゃべれないわけではないので、ぼくは平気です」

強くなったA君は退級していきました。

3年が過ぎました。最高学年になっていたA君から突然ハガキが来ました。

今度の連合水泳記録会でリレーの選手になっている、ついては是非見に来てほしいと書かれていました。

私は出かけました。

A君はリレーの選手で大活躍していました。

でもそれだけではありませんでした。

彼は4校連合の会の総合司会をしていたのです。



障害って何だろうと思うときがあります。

わざわざ望んで得るものではありません。

でも障害という与えられた「壁」を乗り越えることができたとき、

人は何倍も何十倍も強くなることもあるのです。

ことばの教室の先生になりたいと言っていたA君。

ほんの一瞬ですが彼と人生を交わした私も、彼のおかげで少しか強くなれたような気がするのです。

